

2021年3月11日

## SUBARU の 2021 年モデルが IIHS 安全性評価で 9 つの賞を獲得

～2013 年からの累計 TSP+獲得数は単一ブランドとして最多の 57 に～

- クロストレック\*1 ハイブリッド、フォレスター、レガシィ、アウトバック、アセントが最高評価のトップセイフティピックプラス(TSP+)を獲得
- インプレッサ(セダン、5ドア)、クロストレック、WRX は、トップセイフティピック(TSP)を獲得
- 前面衝突予防評価において全てのアイサイト装着車両が最高評価の「Superior」を獲得

SUBARUが米国で販売している2021年モデルが、米国IIHS\*2によって行われた2021年安全性評価において、5つの「トップセイフティピックプラス(TSP+)」と4つの「トップセイフティピック(TSP)」の、計9つの賞を獲得しました。

### 2021 トップセイフティピックプラス(TSP+)獲得車

- ・クロストレック ハイブリッド(3年連続のTSP+獲得)\*3
- ・フォレスター(15年連続のTSP獲得)\*3
- ・レガシィ(16年連続のTSP獲得)\*3
- ・アウトバック(13年連続のTSP獲得)\*3
- ・アセント(4年連続のTSP獲得)\*3

### 2021 トップセイフティピック(TSP)獲得車

- ・インプレッサ(セダン、5ドア)(アイサイトおよび特定のヘッドライト装着車)(14年連続のTSP獲得)\*3
- ・クロストレック(アイサイトおよび特定のヘッドライト装着車)(10年連続のTSP獲得)\*3
- ・WRX(アイサイトおよび特定のヘッドライト装着車)(8年連続のTSP獲得)\*3

なお、TSPの要件を更に強化したTSP+が2013年に導入されて以降SUBARUが獲得したTSP+の累計は57となり、単一ブランドとして最多となります。\*3\*4

IIHSは継続的に評価基準を厳格化することで、より安全なクルマの普及に取り組んでいます。

2021年安全性評価においてTSPを獲得するには、6種類ある耐衝撃性能試験のすべてにおいて「Good」、前面衝突予防評価において対車両および対歩行者の両方で「Superior」もしくは「Advanced」、且つヘッドライト性能試験において「Good」もしくは「Acceptable」を獲得することが求められます。さらに、「Good」もしくは「Acceptable」評価を獲得したヘッドライトを標準装備したモデルには、最高評価であるTSP+が与えられます。

\*1: 日本名 SUBARU XV

\*2: Insurance Institute for Highway Safety(道路安全保険協会)

\*3: 適用対象は米国仕様車のみ。Subaru of America と Subaru Canada の調査結果に基づく。

\*4: 2021年2月時点



2021年モデル アセント(米国仕様)



2021 トップセイフティピックプラス ロゴ